

原

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2021年 6月28日

和歌山県知事

殿



提出者

住 所 和歌山県御坊市塩屋町南塩屋字富島1-3

氏 名 関西電力株式会社 御坊発電所

所長 杉本 隆史

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

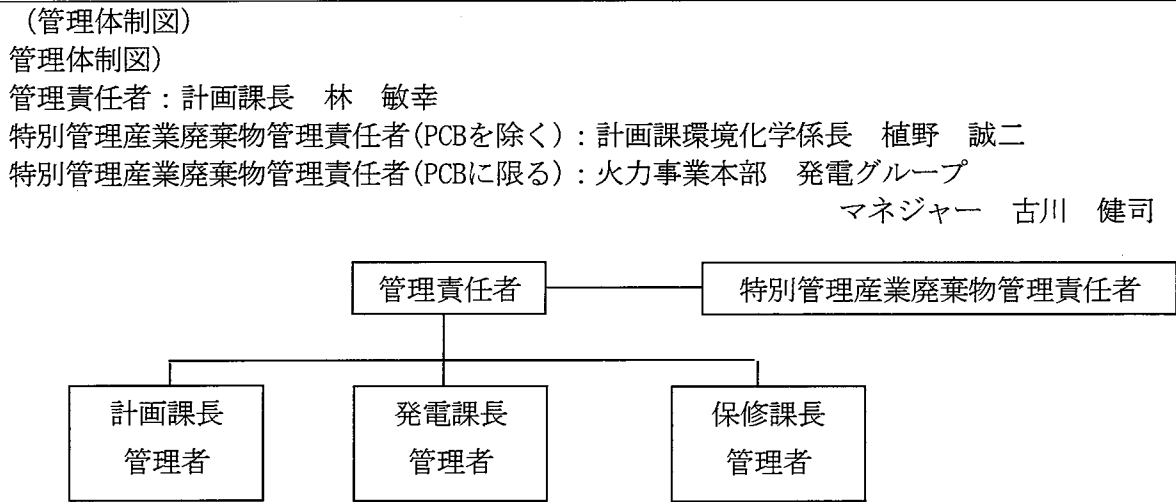
電話番号 0738(23)2811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	関西電力株式会社 御坊発電所
事業場の所在地	和歌山県御坊市塩屋町南塩屋字富島1-3
計画期間	2021年4月1日 ~ 2022年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	33 電気業
② 事業の規模	671,476MWh (2020年度 発電電力量実績)
③ 従業員数	87名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙—1, 2のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙—3のとおり	
	排出量	1,049 t	t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の発生量は、発電所の稼働状況ならびに定期点検工事等の工事範囲等により左右されるが、可能な範囲での保温材等の再利用等による排出量の抑制に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	890 t	t
	(今後実施する予定の取組) これまでに実施した取り組みを継続する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 保温屑、廃プラ類、廃ウエス、ガラス屑、金属屑、廃石綿の別に分別保管している。混合で排出されるものについては、置場に入れる前に適正に分別し、可能な限り削減している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまでに実施した取り組みを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理汚泥)	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	700 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理汚泥)	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	650 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

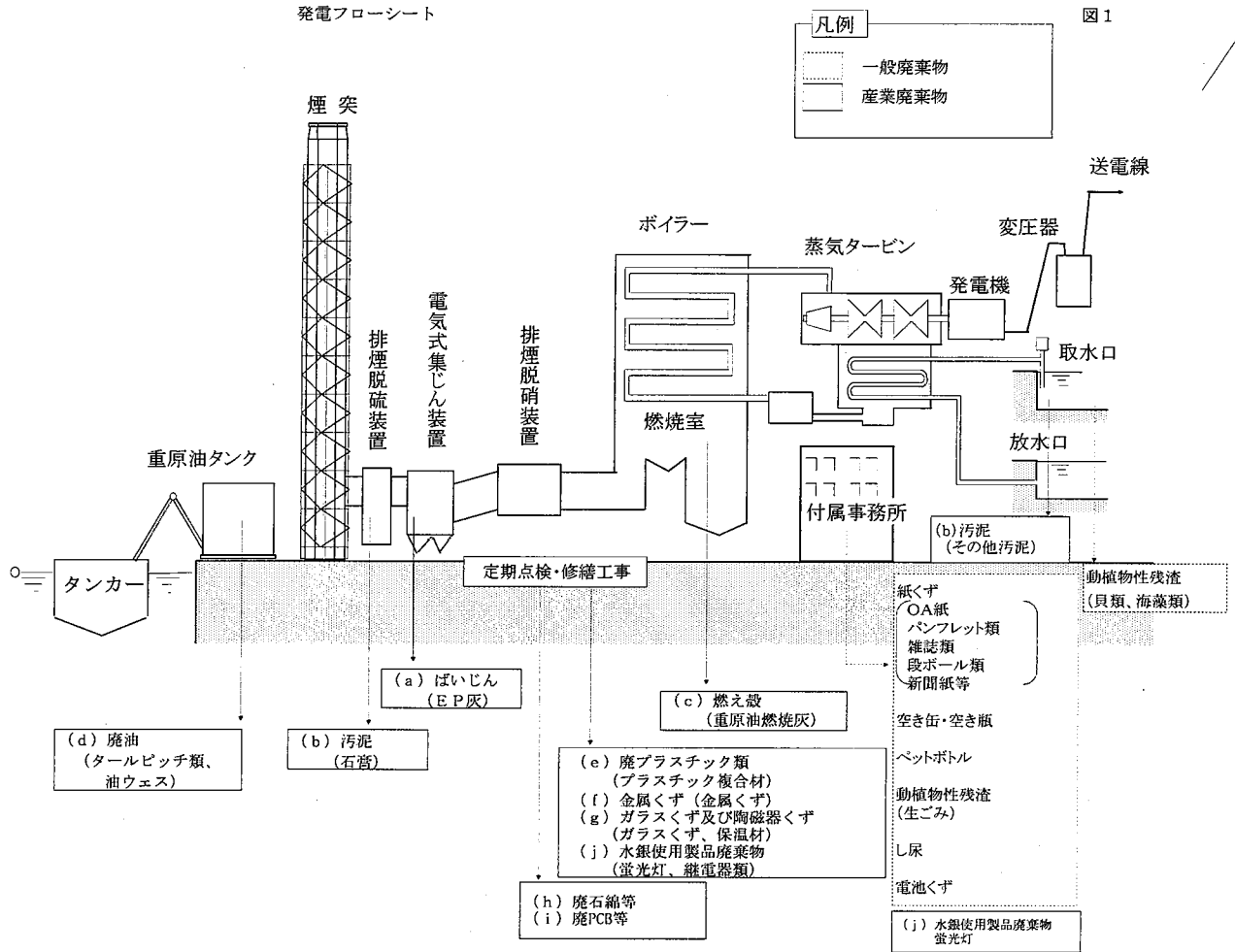
① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-3のとおり	-
	全処理委託量	420 t	-
	優良認定処理業者への処理委託量	91 t	-
	再生利用業者への処理委託量	420 t	-
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-
	(これまでに実施した取組)		

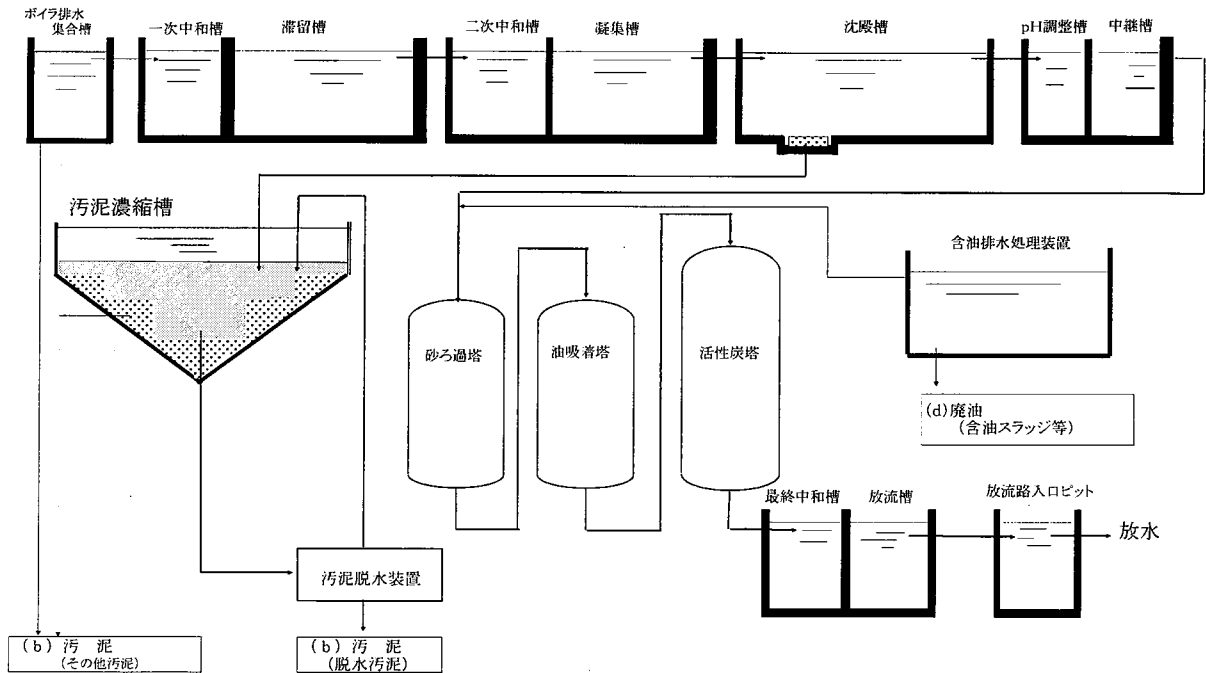
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-4のとおり	-
	全処理委託量	293 t	-
	優良認定処理業者への 処理委託量	67 t	-
	再生利用業者への 処理委託量	293 t	-
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	-
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

発電フローシート

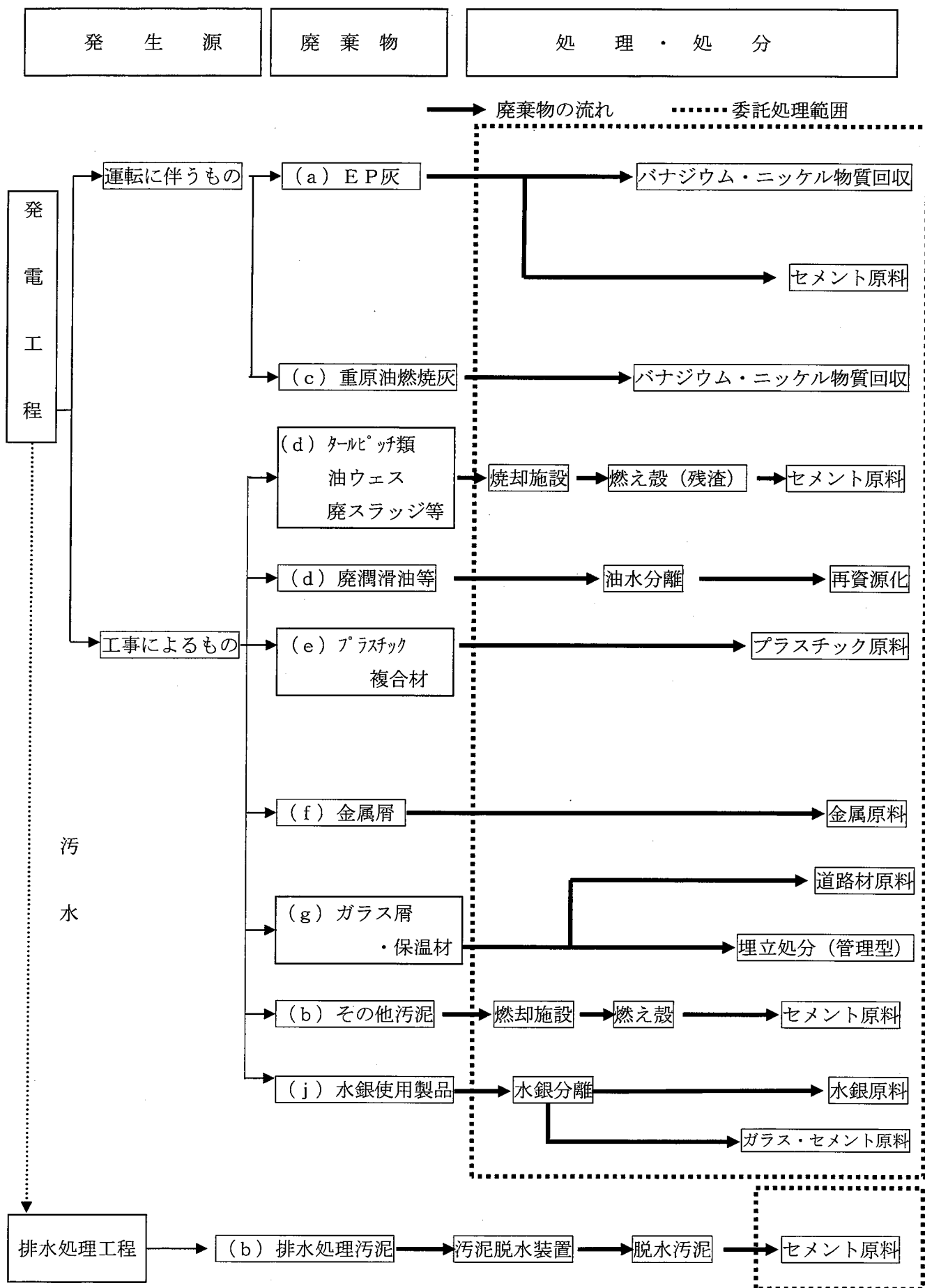


一般排水処理フローシート

図 2



廃棄物処理フロー図 (現状)



2020年度 産業廃棄物処理実績

単位 (t)

産業廃棄物の処理又は処分量			産業廃棄物発生量の目標	産業廃棄物処理実績													
				① 産業廃棄物排出量	② 自ら直接再生利した量	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後再生利した量	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
(a)	ばいじん	EP灰	前年度は、1,000トン未満であり、多量排出事業者でなかった為、2020年度の目標は未設定です。	257								257		257			
(b)	汚泥	排水処理汚泥		700		700		71	629			71		71			
		脱硫石膏(有価物は除く)		48								48	48	48			
		その他汚泥		43								43	43	43			
(c)	燃え殻	重原油燃焼灰		1								1		1			
(d)	廃油	タールピッチ類、油ウエス		0								0		0			
		含油スラッジ等		0								0		0			
		廃潤滑油等(有価物は除く)		0								0		0			
(e)	廃プラスチック	プラスチック複合材		0								0		0			
(f)	金属屑	金属屑(有価物は除く)		0								0		0			
(g)	ガラス・陶磁器屑	ガラス屑、保温材	0								0		0				
小計			0	1,049		700	0	71	629		420	0	420				

2020年度 産業廃棄物発生量及び、2021年度 産業廃棄物処理目標

単位 (t)

産業廃棄物の処理又は処分目			産業廃棄物発生量	産業廃棄物処理目標												
				産業廃棄物排出量 (①)	自ら直接再生利する量 (②)	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量 (③)	自ら中間処理する量 (④)	④のうち熱回収を行なう量 (⑤)	自ら中間処理した後の残さ量 (⑥)	自ら中間処理により減量する量 (⑦)	自ら中間処理した後再生利する量 (⑧)	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量 (⑨)	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (⑩)	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 (⑪)	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 (⑫)	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 (⑬)
(a)	ばいじん	EP灰	257	172								172		172		
(b)	汚泥	排水処理汚泥	700	650		650		53	597			53		53		
		脱硫石膏 (有価物は除く)	48	38								38	38	38		
		その他汚泥	43	22								22	22	22		
(c)	燃え殻	重原油燃焼灰	1	1								1		1		
(d)	廃油	タールピッチ類、油ウエス	0	0								0		0		
		含油スラッジ等	0	0								0		0		
		廃潤滑油等	0	7								7	7	7		
(e)	廃プラスチック	プラスチック複合材等	0	0								0		0		
(f)	金属屑	金属屑 (有価物は除く)	0	0								0		0		
(g)	ガラス・陶磁器屑	ガラス屑、保温材	0	0								0		0		
小計			1,049	890		650	0	53	597			293	67	293	0	0